

大好きな沼津で、働こう。

近年、就職活動における環境は、インターネットの側、採用する側のどちらから見て変化しています。SNSでの情報発信やコロナ禍におけるオンライン面接など、就職・採用活動の手法にも変化があります。

このような中、国家・地方ともに公務員試験の志望者は減少傾向にあり、沼津市職員採用試験においても例外ではありません。

「公務員という「お堅い」、「仕事内容が単調」というイメージもあると思いますが、沼津市役所では、市民の皆さんの目に触れない場面でも様々な挑戦が行われています」と話すのは、人事課の田中主任です。職員の採用や研修に関する業務に取り組んでいます。

今回の特集では、それぞれの業務で奮闘する市職員へのインタビューを通して、仕事のほんの一部を紹介します。田中主任は、「この機会に市民の皆さんに市職員の生の声や姿を知って頂き、市の取り組みや業務に興味を持って頂けると嬉しいです」と話します。

優秀で有能な人材が集まり、効果的で効果的な市政運営が展開されていくことは、サービスの質の向上やまちの活性化など、市民の皆さんの暮らしに大きくプラスになることに繋がります。

「現在、令和4年度採用の新規職員を募集していますので、ぜひ応募して下さい。興味がある、やる気がある、そして市民の皆さんのために、一緒に働ける仲間を僕たちも待っています」と熱く語ってくれました。



ふるさと納税返礼品(寝具)の打ち合わせ

入庁してから教育・人事・観光と3つの分野を経験してきた手島主事。新しいことに取り組む度に、沼津の魅力に出会えるんです」と得意のスマイルを見せてくれます。

現在は、ふるさと納税に関する業務を担当しており、時には生産者や商店の店主に直接提案をし、返礼品の新規開拓を行います。



観光戦略課主事(一般事務)
手島有貴
入庁9年目
座右の銘は「スマイル0円」

今日より明日。 沼津のことが好きになる。

「事業者さんのおかげもあって、ふるさと納税は好調です。寄附額が増えていることも嬉しいですし、何より多くの人に愛されていて私自身大ファンの沼津の地場産品が、全国に届けられることが嬉しいですね」とやりがいを語ります。

沼津市では、職員一人ひとりの多様な能力の育成や人員の固定化を防ぐことを目的に人事異動が行われており、職員は数年に一度、所属する部署が変わります。

手島主事は、「違う分野に異動になるのは正直大変です。でも、だからこそ仕事の幅も広がるし、前の部署で学んだことが意外な場面で活きてくるというところもあるんです。これからは気を引き締めつつ、いろんなことにチャレンジしていきたいです」と仕事への想いを伝えてくれました。



人事課主任(一般事務)
田中鉄郎
入庁16年目
座右の銘は「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり」